

いのち・平和 心に刻み

「しゃべるな
米が発言禁止

<上>

紙さん 肥田さん ホットトーク

紙 被団協（日本原水）で五十年になり、式
爆被災者団体協議会が典が開かれましたね。

被爆者

前十年間が一番苦しかった。政府は面倒をみなかつたし、家族を全部くして独りになつた子どもが病氣で飢え死にしたんですよ。アメリカは、被爆者が一番原爆を知つてゐるから警戒し、「原爆は軍の機密。広島、長崎の体験はしゃべってはならぬ」と厳重に禁止しました。

私は子どものとき原爆の話は恐ろしくて。八月六日と九日はテレビ特集を見ているだけ受けとめきれない。それが学校教育の現場で事実が知らされ、目をむけちゃだめだと思うようになるわけです。肥田先生は、そのときは医者だったんですね。

肥田 医者としてまつた。

紙 紙智子さんとお話しを始めたのは、再び被爆者をつくり

最大の気持ち」と聞いて、その気持ちを受け継がなければと思いま

た。

肥田 あなたが生まれた五年に第一回の原水

爆禁止世界大会が広島で開かれ、翌年に被団協が

されました。被爆者が全

て、その気持ちを受け継がなければと思いま

いと思います。

肥田 被団協の人々が各

を回り、知らせていくと

廣島、長崎のことを分か

つてくれ、必ず広がっていく。人に働きかけて心

を動かす、私たちが一番

受け継がなくてはいけない

と思います。



参院議員 紙智子さん 医師 肥田舜太郎さん

紙智子さんの略歴 一九五五年札幌市生まれ。北海道女子短期大学工芸美術科卒、日本民主青年同盟副委員、党中央委員。家族は夫

「繰返すな」の気持ち続いで 紙

20代の終わり 実相を聞いて

紙 私は戦争が終わって十年後、一九五五年の生まれなので戦争を知らないわけです。そういう私たちが大きく意識が変わるのは、被爆の実相を聞いたときです。私は二十代の終わりころ、民青同盟の取り組みで広島に行つたとき、大きなショック受けました。

被爆者の方から、「思い出したくもない。それをあえて話し始めたのは、再び被爆者をつくりたくない」ということが

紙 被団協の人が各国を回り、知らせていくと廣島、長崎のことを分かってくれ、必ず広がっていく。人に働きかけて心を動かす、私たちが一番受け継がなくてはいけないと思います。